

三崎魚市場に水揚げされた魚類—XIV

山田和彦・工藤孝浩

Kazuhiko Yamada and Takahiro Kudo:

Fishes on Misaki Fish Market Landed from Sagami Bay, XIV

Summary: Ichthyofauna of Sagami Bay has been researched by landing fishes of Misaki Fish Market, and 558 species has been recorded since 1986. In the present paper, six species are additionally recorded. *Naso lopezi*, *Gerres filamentosus* and *Lagocephalus inermis* are of rare occurrence in the Bay.

はじめに

筆者らは相模湾の魚類相を明らかにするために、三崎魚市場において、周辺海域の漁獲物調査を継続している。これまでに558種を記録したが(山田・工藤, 2004), 新たに水揚げされた6種について報告する。

調査方法

三崎魚市場に水揚げされる魚類のうち、相模湾で採集されたものについて、種類、採集場所、採集方法を記録した。調査期間は2003年10月から2004年10月までの約1年である。1ヵ月平均3回、合計36回の調査を行なった。ここでいう相模湾とは、伊豆半島石廊崎と房総半島洲崎を結んだ線以北のうち、観音崎—富津岬以北の東京湾を除く海域である。採集場所の名称を図1に示す。標本として採集した魚は、新鮮なうちに写真撮影したのち10%ホルマリンで固定した。標本は、横須賀市自然・人文博物館魚類資料(YCM-P)、おさかな普及センター資料館魚類標本(FIM)として登録し、保存した。

海況について

調査期間中の相模湾付近における海況は概略次のとおりであった。

黒潮は、10~3月にほぼ直進型で三宅島付近を流れ、この間には12月上旬と2月上旬に小蛇行が通過して流路は一時的に八丈島付近に南下した。4~6月は直進基調ながら

相模湾沖で小蛇行が停滞した。7月下旬からは大蛇行が東進してきて伊豆諸島西側を北上し、8,9月は伊豆半島に著しく接近して新島付近を流れた。

相模湾の水温は3月まで平年に比べて1℃以内の幅で高温・低温を繰り返していたが、4月以降は継続的に平年比1℃前後高めで経過した。特に黒潮が著しく接近した7~8月には、大島西水道から湾内に暖水が波及して平年比2℃以上の高温となり、湾内の透明度も向上した。9月以降は平年比1℃以内の幅で高低温を繰り返すようになった。

今回、新たに水揚げされた6種のうち、4種は黒潮が大蛇行した期間に漁獲されている。イトヒキサギとナガニザ、カナフグは通常の分布域が相模湾より西もしくは南にあり、黒潮の接近によって相模湾に運ばれたことが考えられる。

調査結果

新たに記録された魚類について、通し番号、標準和名、学名、図版番号、採集年月日、採集場所および採集方法、体長(mm SL)、登録番号、分布記録などの順に記載した。標準和名、学名および一般的な分布記録は中坊(2000)に従った。

559. マツバゴチ *Rogodius asper* (図2-1)

2004年5月12日、毘沙門定置網、112.0mm SL, YCM-P 42415

本州中部以南に分布する。相模湾では西湘定置網(林・西山, 1980)から記録があるが少ない。

560. オビアナハゼ *Pseudoblennius zonostigma*

(図2-2), 2004年9月20日、毘沙門定置網, 122.0mm SL, YCM-P 42414

南日本に分布する。相模湾では三浦半島南西部(工藤・岡部, 1991), 熱海(瀬能ほか, 1998)から記録がある。沿岸の岩礁にすむため、定置網で漁獲されることは稀である。

561. イトヒキサギ *Gerres filamentosus* (図2-3)

2004年8月1日、毘沙門定置網, 152.0mm SL, YCM-P 42413

南日本の太平洋岸以南に分布する。相模湾では、相模川から幼魚の記録があるのみである(簗宮ほか, 2002)。毘沙門定置網では8~9月にわたって、ほぼ同じサイズのものが3個体漁獲された。

562. ナガテングハギモドキ *Naso lopezi* (図2-5)

2003年11月24日、藤沢市沖定置網, 362.0mm SL, YCM-P 42268

琉球列島以南に分布するとされる。相模湾では長井定置網で漁獲された成魚の記録があるが(竹嶋, 1989), 稀である。

563. ナガニザ *Acanthurus nigrofuscus* (図2-6)

2004年10月11日、毘沙門定置網, 112.0mm SL, YCM-P 42416

南日本以南に分布する。相模湾では三浦半島南西部(工藤・岡部, 1991), 天神島(林, 1995), 田ノ浦湾(東ほか, 1989)から記録がある。本個体はテングハギモドキ *Naso hexacanthus* やニセカンランハギ *Acanthurus dussumieri* とともに漁獲された。

564. カナフグ *Lagocephalus inermis* (図2-7)

2004年10月11日、藤沢市沖定置網, 235.0mm SL, FIM 2485

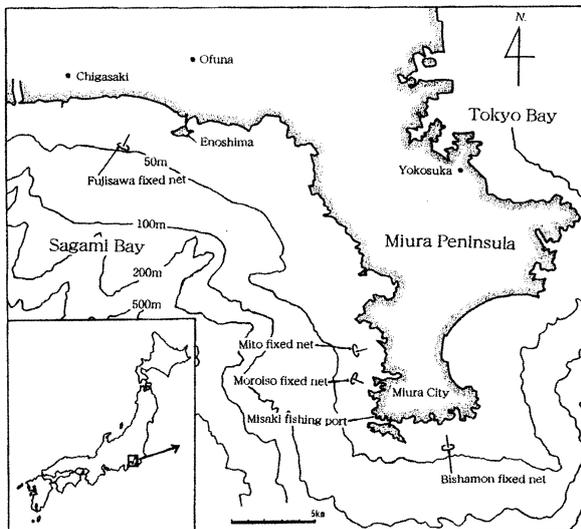


図1. 採集地点。(Map showing collection localities in Sagami Bay.)

南日本以南に分布するとされるが、相模湾からの文献記録はなく、本個体が相模湾初記録と思われる。なお山田（1990）がカナフグとしたものは、ヨリトフグ *Sphoeroides pachygaster* の記載ミスである。

おわりに

本報告を作成するに当たり、標本登録の便を図ってくださった横須賀市自然・人文博物館の萩原清司氏、資料収集にご協力いただいた丸夕丸、丸共丸、万七丸、諸磯丸、共栄丸、三崎沿岸漁業協同組合ほかの方々には深く感謝する。

文献

林 公義, 1995. 天神島臨海自然教育園海域の魚類相. 横浜国立大学環境科学センター紀要, 21 (1): 243-258.
 林 公義・西山喜徳郎, 1980. 西湘定置網で漁獲された魚類. 神奈川自然誌資料, (1): 15-27.
 東 禎三・林 公義・長谷川孝一・足立行彦・萩原清司, 1989.

伊豆半島須崎, 田ノ浦湾周辺海域の魚類. Bull. Coll. Agr. & Vet. Med., Nihon Univ., (46): 175-185.
 工藤孝浩・岡部 久, 1991. 三浦半島南西部沿岸域の魚類. 神奈川自然誌資料, (12): 29-37.
 馬淵浩司, 2003. ササノハベラ属2種の南日本沿岸における地理的分布パターン. 魚類学雑誌, 50 (2): 103-113.
 蓑宮 敦・勝呂尚之・瀬能 宏, 2002. 相模川および酒匂川で確認された魚類-I-初記録種について-. 神奈川自然誌資料, (23): 5-7.
 中坊徹次(編), 2000. 日本産魚類検索全種の同定第2版. 東海大学出版会, 東京.
 瀬能 宏・牧内 元・武谷 洋, 1998. 魚類写真資料データベース(KPM-NR)に登録された水中写真に基づく熱海産魚類目録. 神奈川自然誌資料, (19): 19-28.
 竹嶋轡夫, 1989. 相模湾初記録の魚類3種について. 神奈川県博物館協会々報, (16): 1-3.
 山田和彦, 1990. 神奈川県三崎魚市場に水揚げされた魚類. 神奈川自然誌資料, (19): 19-28.
 山田和彦・工藤孝浩, 2004. 神奈川県三崎魚市場に水揚げされた魚類-I. 神奈川自然誌資料, (25): 19-28.

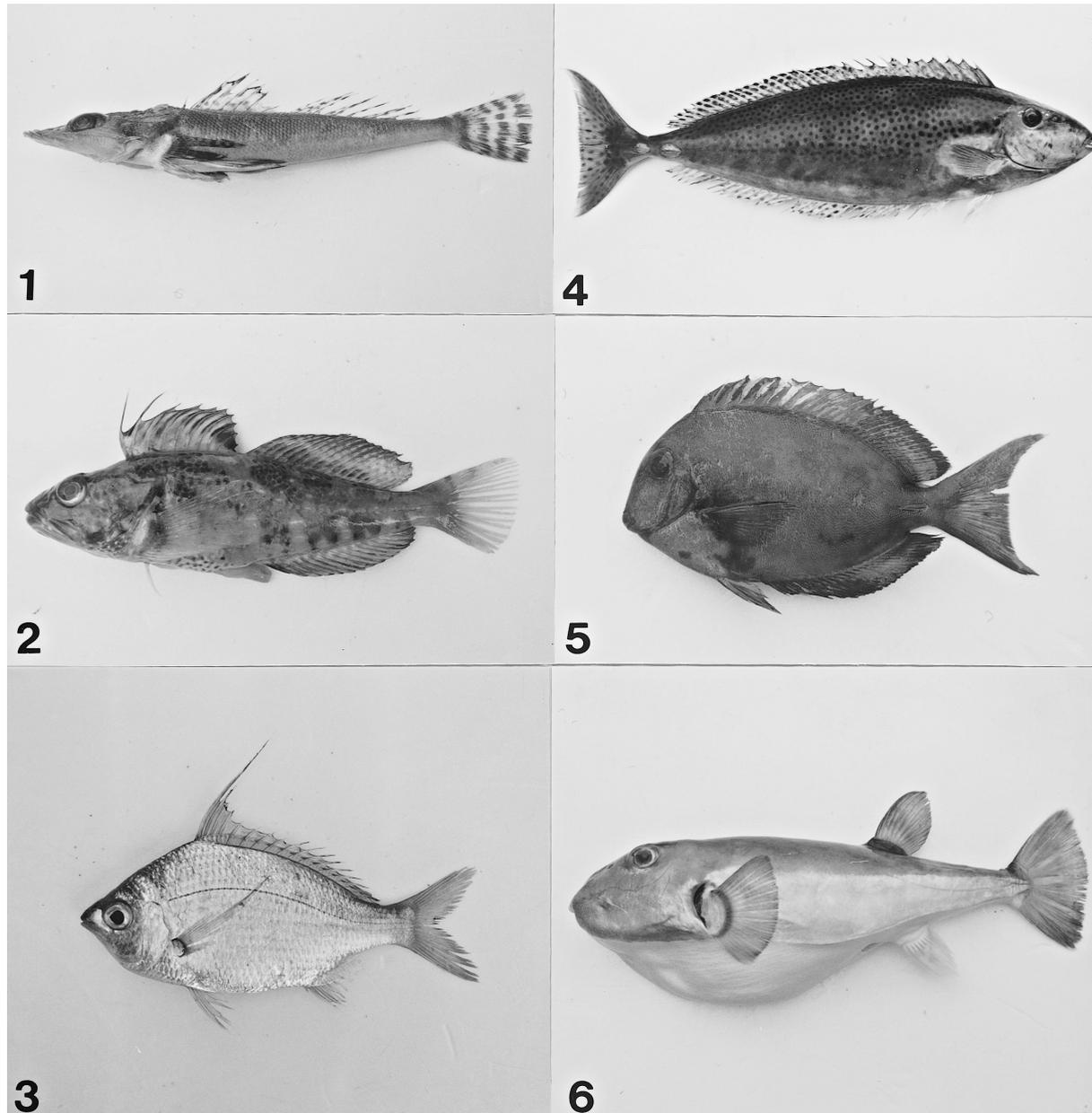


図2. 1. マツバゴチ *Rogodinus asper*, YCM-P42415, SL112.0mm; 2. オピアナハゼ *Pseudoblennius zonostigma*, YCM-P42414, SL122.0mm; 3. イトヒキサギ *Gerres filamentosus*, YCM-P42413, SL152.0mm; 4. ナガテングハギモドキ *Naso lopezi*, YCM-P42268, SL362.0mm; 5. ナガニザ *Acanthurus nigrofuscus*, YCM-P42416, SL112.0mm; 6. カナフグ *Lagocephalus inermis*, FIM2485, SL235.0mm

(山田: 相模湾海洋生物研究会,
 工藤: 神奈川県水産総合研究所)